



10月13日秋晴れの下、美南小学校区が新たに加わり8校区で市民体育祭が行われました。地域対抗の綱引きや親子競技などに参加者のみなさんがスポーツを通して交流、楽しみました。

秋晴れの下 和やかにスポーツ交流 市民体育祭市内8箇所で開催

吉川美南駅東口周辺開発 総事業費174億円、市負担約48億円

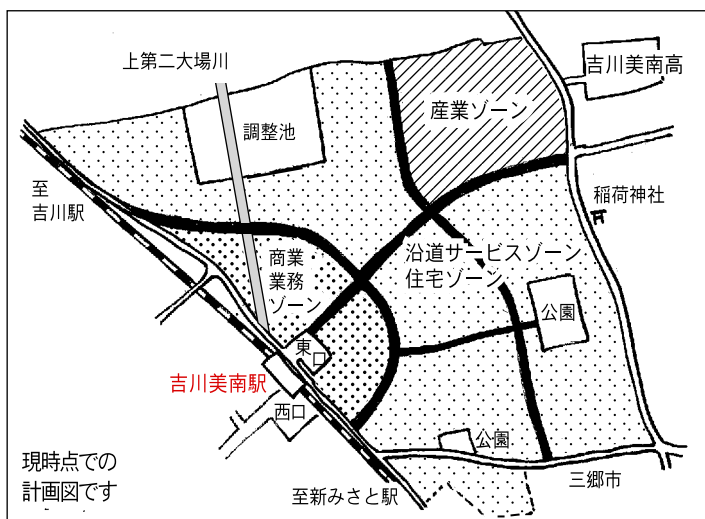
昨年3月、吉川美南駅が開業されたことから、吉川市は駅東側の宅地開発を早急にすすめたいと、埼玉県と協議をしてきました。県との調整がほぼまとまったとして9月18日、担当課より

議会全員協議会で事業計画の概要について説明がありました。また、地権者説明会が中新田集会所や中央公民館など4箇所で行われ、158名が出席しました。

吉川美南駅東口周辺地区の土地区画整理事業計画(案)概要は、施工者が吉川市、事業面積約60ha、施工期間10年(精算期間を除く)、平均減歩率約50%(公共減歩率22%、保留地減歩率28%)、

総事業費約174億円となつていきます。支出計画は、道路約20億円、河川・水路約5億円、調整池約27億円、移転補償費約7億円、宅地整地約31億円、上下水道・ガスなど約29億円、

吉川美南駅東口周辺地区 土地利用計画



事業計画(案)の概要

	平成18年度 時点の試算	平成25年度 計画素案
事業面積	約63ha	約60ha
平均減歩	約50%	約50%
総事業費	約132億円	約174億円
収入計画(案)		
国庫補助金	約11億円	約48億円
保留地処分金	約119億円	約103億円
公共施設管理者負担金	約2億円	約2億円
市単独費		約21億円
合計	約132億円	約174億円
支出計画(案)		
道路	約22億円	約20億円
河川・水路	約5億円	約5億円
調整池	約20億円	約27億円
移転補償費	約3億円	約7億円
宅地整地	約8億円	約31億円
上下水道・ガス等	約33億円	約29億円
調査・設計等	約41億円	約55億円
合計	約132億円	約174億円

国庫補助金の内 市費 1/2 です

市の負担は国庫補助金の吉川市負担分52%で24億9600万円、市単独費約21億円、公共施設管理者負担金約2億円で

合計約47億9600万円を見込んでいます。平成18年度に計画した試算と比べて約42億円の増額となっております(左表を参照してください)。

平成26年度の都市計画決定めざす 市は、目標として平成26年度末の都市計画決定を目指したいとしています。平成18年の計画は、武蔵野操車場跡地と一体に開発する計画でしたが、埼玉県から市の財政がきびしいと指摘された経過があります。計画期間10年で毎年平均約4億8000万円を区画整理事業へ投入することで他の事業への影響はないのか、高い平均減歩率約50%で地権者の理解は得られるのか、国庫補助金が予定通り交付されるのか、計画期間10年というのは現実的ではないのではないか等、課題は多い。